

☆親亡き後を考え学ぶ会<第1回学習会>☆

～『グループホームは終の住処か?!』～

<<学習会の趣旨>>

現在、障害者を取り巻く環境は目まぐるしく変化し、社会情勢も決して安定しているとは言えない状況です。

皆さんは、親亡き後の彼らの生活がどのようなものか、想像することができますか。日々不安を感じているのは私たちだけでしょうか？

今私たちは、子供たちの為に<何を知り>・<何を備え>・<何を覚悟するべきか>を知り、冷静に判断していかななくてはなりません。その為に、今後継続して勉強会を開きたいと考えております。

今回は、NPO法人医療的ケアネット杉本健郎理事長にお話しを伺います。

また、第二部のワークショップでは皆さまのご意見をお聞かせください。

◇日時：2017年 8月 23日 水曜日 10:30から15:30まで (受付は10:00～)

◇会場：枚方市立総合福祉会館 ラポールひらかた 4階 大研修

(京阪電車「枚方市」駅下車、西側、府道京都守口線側スグ)

◇内容：第一部 講演「グループホームは終の住処か?!」

NPO法人 医療的ケアネット理事長：杉本健郎さん

第二部 ワークショップ (小グループでの意見交換・発表)

▽参加費：500円 (要予約) 参加申込み・連絡先は下記まで (2ページに申込み書あり)

お申し込みは、お名前、所属、住所、連絡先などをお書きの上、FAXかアドレスへ送信してください。

▽主催：親亡き後を考え学ぶ会<第1回学習会> (発起人：枚方・寝屋川在住障害者の親4人)

共催：NPO法人 医療的ケアネット

*杉本先生からのお誘い……

1980年代から2004年まで守口市から八幡市のいわゆる京阪沿線のハンディキャップをもつ子どもたちとご家族とともに年を重ねました。

みんな成人になり、30～40代が主です。親御さんは杉本と同世代で、高齢者の仲間入りです。これまで自宅近くに「グループホーム」を作ろう、地域で生活する拠点に、とみんな努力してこられたと思います。

そこでいま何が問題となっているか？ 病気になった時、気持ちが収まらない時、医療的ケアが必要になったとき等、そしてまもなくやってくる終の時期に、果たしてGHではどんな支援ができるのか、なにが欠落しているのか、今後どのような討論が必要なのかを一緒に考えたいと思います。

また2008年から故郷の(丹波)篠山市で障害者総合支援法の関係支援会議や診療で垣間見る高齢障害者の非都市部(田舎)での現状や課題もお話できたら、と考えています。いっしょに考えるはじめの一步にしましょう。

平日ですが、お会いできることを楽しみにしています。

<親亡き後を考え学ぶ会：第1回学習会（8月23日）参加申込み書>

お名前	所属など	ご住所	連絡先（電話）	FAX	Eメールアドレス
		〒 -			@
		〒 -			@
		〒 -			@
		〒 -			@
		〒 -			@
		〒 -			@

頂いた個人情報は、これからの学習会ご案内などに限り使用いたします。

↑↑ <参加申込みは EメールかFAXで、8月上旬頃までに> ↑↑

*森田 洋子（発起人の一人）

Eメール：moritayo@arrow.ocn.ne.jp

FAX:072-859-6346（森田）

*NPO法人医療的ケアネット篠山事務局（杉本）

Eメール：ken-sugi@gb3.so-net.ne.jp

FAX 079-506-9673（杉本）